



# 福岡市政だより

令和4(2022)年

9/15

No.1716

**FaN**  
Fukuoka Art Next

アジアのリーダー都市へ  
**FUKUOKA NEXT**

アートに出会う  
アートファンになる 18日間

## FaN Week

市美術館やアジア美術館、博多旧市街の寺院や建設現場の壁など、福岡のまちを巡り、アートに出会うウィークです。



KYNE (Untitled) 2020年 (c) 2020 LOCUS Inc. All Rights Reserved.



ジュリアン・オビー【イギリス】《アーミーキャップと白いTシャツ》2015年  
©Julian Opie / courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY  
©Julian Opie. All rights reserved, DACS & JASPER, Tokyo 2022 E4860



木村剛士《ベアラーオブアメッセージ》2015年



ムルヤナ《サガラ》2022年



神岡重彰《光と風の集積》



栗森由美《builds crowd》2011年



菅原直島《PEACE》



チェ・ジョンファ【韓国】《息をする花》2018年、作家蔵  
Choi Jeonghwa (South Korea) Breathing Flower, 2018, Collection: Artist



トニー・マテリ【フィート(ネタクリンズ)】2022年

主催：福岡市 チーフディレクター：宮津大輔

## 2022.9.23 火 - 10.10 月

まちにアートがあふれる

「ファンウィーク」開催

※右のファンウィーク告知チラシは、情報プラザ(市役所1階)、各区役所情報コーナー、入部・西部出張所等で配布しています。

市長からのメッセージ

暮らしにアートを

市は、市民の皆さんに身近な場所で気軽にアートを楽しんでもらおうと、福岡のまちをアートで彩るイベント「FaN Week」を9月23日(金・祝)から初開催します。

市美術館や福岡アジア美術館だけでなく、博多旧市街の寺院や建設現場の壁など、街中のさまざまな場所で個性あふれるアート作品に出会うことができます。また、作品を展示・販売する「アートマルシェ」やアーティストとの交流イベントなども行われます。

アートは、人の心を豊かにし、まちや暮らしに彩りを与えてくれます。皆さんもこの機会にお気に入りの作品を探しに出掛けてみませんか。



**福岡市長 高島宗一郎**

今号の主な内容

- <特集>FaN Week (ファンウィーク)開催 ..... **1-3**
- 新型コロナウイルス関連情報 ..... **4**
- 「インクルーシブな遊具広場」が登場 ..... **5**
- 環境フェスティバルふくおか ..... **6**
- 情報BOX ..... **7-14**
- 区版 ..... **15-16**

※本紙掲載の情報は、9月1日時点のものです。

・ 中面折り込み ..... 消費生活かわら版(特別号)


**人口 1,629,837人** (前月比708人増)  
男=768,806人/女=861,031人

**世帯数 856,204世帯** (前月比647世帯増)  
※人口と世帯数は令和4年8月1日現在推計

**面積 343.47km<sup>2</sup>**

**ダムの貯水率 61.11%**  
(9月1日現在)

- 市役所代表電話 ..... ☎711-4111 (市外局番は092)
- 市政に関するご意見・要望・相談 ..... 広聴課 ☎711-4067 733-5580
- 福岡市政だよりの配布 ..... 毎日メディアサービス ☎0120-359-303



SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、持続可能な社会の実現を目指す17の国際目標です。福岡市は、SDGsの達成に向けたさまざまな取り組みを進めています。

# FaN

## Fukuoka Art Next

まちにアートがあふれる

# 「ファンウィーク」開催

9月23日(金・祝)～10月10日(月・祝)

市は、市民の皆さんにアートに親しんでもらおうと、「ファンウィーク」を初開催します。市内各所でアート展やトークイベント、作品を購入できるアートマルシェなど、さまざまな催しが行われます。この機会に、ぜひアートに触れてみてください。

市は、暮らしにアートが溶け込む彩りにあふれたまちを目指す取り組み、「フクオカアートネクス」を推進しています。

ファンウィーク期間中、市美術館(中央区大濠公園)や福岡アジア美術館(博多区下川端町)に加え、博多旧市街の寺社や建設

現場の壁など、さまざまな場所がアートであふれます。福岡のコンパクトなまちの特徴を生かしたイベントです。ぜひ展示会場を巡ってみてください。また、アーティストの活躍の場を増やすことで、アーティストたちの成長を支援します。

ファンウィークのチーフディレクターを務める横浜美術大学教授の宮津大輔氏(59)に左写真に話を伺いました。



日本を代表するコレクターで森美術館(東京都)理事。各地でアートイベントをプロデュースしている



### 【ファンウィーク会場地図】

- ① オープニングイベント・コレクターズ展 市美術館
- ② アートフェアアジア福岡2022 福岡国際会議場、ホテルオークラ福岡
- ③ エモーショナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館 福岡アジア美術館、吉塚市場リトルアジアマーケット、ポートレース福岡、幻住庵
- ④ 屋外アート展示×ライトアップ 博多旧市街(3面参照)

妻は久留米市出身で、年に数回訪れる福岡は、私の第二の故郷でもあります。平成2(1999)年に始まったミュージアム・シティ天神やアジア美術館の開館など、福岡市の移り変わりを身近に感じてきました。福岡は、歴史的にも文化的にもしっかりアートが根付き、長く受け継がれてきたまちです。松永コレクションの松永耳庵や元西日本シティ銀行頭取の四島司など、コレクターとしての先輩たちの存在からも分かるように、福岡は昔からアートを育む特有の素地がありました。アートは一部のお金持ちだけ



市美術館外観

市美術館会場では、9月23日(金・祝)～25日(日)に、ファンウィークのオープニングを飾るさまざまな催しが行われます。宮津大輔氏やゲストを迎えてのトークセッションのほか、子どもたちも参加できるライブイベントなどを実施します。アート作品を展示・販売するアートマルシェも開催。詳細は市ホームページ(福岡市「ファンウィーク」で検索)を確認を。



## オープニングイベントとコレクターズ展

の道楽ではありません。私も、一般的な会社員生活が長く、暮らしは至って普通です。私は現代アートが好きで、30歳の時に夏と冬のボーナスを全て使って、アート作品を買いました。当時は、高級腕時計や車などにお金を使う友人が多かった時代。自分へのご褒美に私はアートを選んだだけのことでした。妻には多少苦い顔をされましたが、それが私のコレクターとしての始まりです。

皆さん、気に入った作品を購入して一緒に暮らしてみてください。アートと暮らせば、自分自身の生活だけでなく、あらゆる物の見方さえ変化するから不思議です。アートには、正解がありません。作品を選ぶ際は、勉強しないで本能のままに選んでみてください。第一印象と自分との相性だけで十分です。もっと知りたくなったら、作家のことや制作の背景などを調べたり、他の作

品に触れてみたりすると、さらに楽しみが広がります。私にとって福岡は、日本のどこよりも人の温かさを感じる大切な場所です。このイベントが一過性のものでなく、アートが生活に溶け込み市民の皆さんが豊かさにつながるよう、お手伝いできればと思います。若手アーティストたちにも、福岡から世界へと大きく羽ばたいてほしいですね。「ファンウィーク」一緒に楽しみましょう。



香月 美菜  
《0:24:55》

### ●コレクターズ展

期9月23日(金・祝)～10月10日(月・祝) 市美術館 近現代美術室B 開館前9時半～午後5時半(金・土曜日は8時) ※入館は閉館30分前まで 一般200円、高大生150円、中学生以下と市内に住む65歳以上は無料

ファンウィーク期間中、4人のコレクター(家人一真氏、榎本二郎氏、小笠原治氏、熊谷正寿氏)が所有する貴重なアート作品を展示します。

9月26日(月)、10月3日(月)

問い合わせは、アートのまちづくり推進担当(☎707・3779) 733・5537)へ。

### アーティストカフェ誕生



市は、アーティストを育て支援しようと9月1日、「アーティストカフェフクオカ」=写真=を旧舞鶴中学校(中央区城内)に開設しました。アーティストたちへの相談対応や企業等とのマッチングを行うほか、ギャラリーとしての機能を持たせ、各種イベントも実施します。

9月23日(金・祝)から同ギャラリーで、今年度福岡アジア文化賞(芸術・文化賞)を受賞したシャジャ・シカンダー氏(米国)の作品を展示します。



## アートフェアアジア福岡

9月30日(金)～10月3日(月)

9月30日(金)からの4日間、福岡国際会議場(博多区石城町)とホテルオークラ福岡(博多区下川端町)の2会場で「アートフェアアジア福岡2022」が開催されます。※ホテルオークラは10月2日(日)まで。

入場料は2,500円(前売り2,000円)です。時間等、詳細はホームページ(「アートフェアアジア福岡」で検索)でご確認ください。

### 過去最多の75ギャラリーが福岡に集結

福岡国際会議場では「アジアセクション」と題し、東京画廊+BTAP(ビータップ)、小山登美夫ギャラリー、オオタファインアーツ等がアジアのアーティストを紹介するほか、宮津大輔氏による「Leading Asia(リーディング アジア)」ブース等を開設します。



アートフェアアジア福岡2021(博多阪急会場)



アートフェアアジア福岡2019(ホテルオークラ会場)

ホテルオークラ福岡会場には、38ギャラリーが出展。両会場合わせて国内外から75のギャラリーがさまざまなアート作品を出展します。

今を生きる現代アーティストたちの息吹を感じてください。問い合わせは、アートフェアアジア福岡事務局(☎050-5896-3124 ✉info@artfair.asia)へ。



東長寺のライトアップ(令和元年)

日本の中世最大の貿易港湾都市として栄え、その歴史と文化を今に伝える「博多旧市街」で、アートの展示と寺社のライト



## 屋外アートとライトアップ

### 博多旧市街

アップなどを実施します。

#### アートとライトアップ

9月30日(金)からの11日間、屋外に展示されるアート作品と共に、美しくライトアップされた寺社の夜の風情を楽しめます。

期9月30日(金)～10月10日(月)・祝 所▽東長寺(博多区御供所町)▽榎田神社(博多区上川端町)▽妙楽寺(博多区御供所町)▽龍宮寺(博多区冷泉町)※東長寺、妙楽寺は、10月3日(月)まで。開午後9時まで(榎田神社は



イ・ビョンチャン《生き物》2019年 ※参考作品

10時まで) 無料

#### 冷泉公園が特別会場に

冷泉公園(博多区上川端町)に、アート作品を展示・販売するマルシェや飲食等を夜10時まで楽しめる、特別会場を設けます。

問問い合わせ先/文化振興課 ☎711-4969 F733-5537



昨年のウォールアート

## Fukuoka Wall Art Project

市は、ファンウィークが始まる9月23日(金・祝)に合わせ、天神や博多駅周辺などの建設現場の仮囲い等を活用し、市が募集したフクオカウォールアート賞の受賞作品を掲出します。場所は、イムズや天神コア・天神ビブレの跡地(天神一丁目)や西日本シティ銀行本店本館建設現場(博多駅前三丁目)などです。福岡国際会議場で行われるアートフェアアジア福岡や市内イベントスペースなどで、受賞作品の展示・販売を行います。

問問い合わせ先/文化振興課 ☎711-4969 F733-5537

## FaN Fukuoka Art Next

### デジタルスタンプラリー

イベント会場や周辺の飲食店などを巡りスタンプを集めると、来店特典やノベルティなどのプレゼントがもらえます。詳細はホームページ(「ファンウィーク スタンプラリー」で検索)でご確認ください。問い合わせは、観光マーケティング課(☎711-4355 F733-5901)へ。

### ●さまざまな関連イベントも

ファンウィーク期間中、市内各所でさまざまな関連イベントが開催されます。ワインバー「オ・ボルドー・フクオカ」(中央区西中洲)では、「博多絵師 雄猿」のアート作品と共にワインが楽しめるほか、10月4日(火)には六本松蔦屋(つたや)書店で書道家によるアートパフォーマンス等も行われます(本紙12面参照)。記事に関する問い合わせは、アートのまちづくり推進担当(☎707-3779 F733-5537)へ。



書道家・燁風(ようふう)氏



リュウ・ジーホン[台湾]《青い植木鉢》2018年、宮津大輔氏所蔵

## 福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum

### エモーショナル・アジア

宮津大輔コレクション × 福岡アジア美術館

「エモーショナル・アジア」は、宮津大輔氏が1990年代から収集したアジアの現代アートと、アジア美術館のコレクションを組み合わせた企画展です。アジアの歴史や現代社会、ジェンダーなど、私たちに関わりの深い四つのテーマで絵画・彫刻・写真・映像など、45作家95点を紹介します。

期9月15日(木)～12月25日(日) 所アジア美術館 開午前9時半～午後6時(金・土曜日は8時) ※入室は閉室30分前まで 料一般500円、高大生250円、中学生以下と市内に住む65歳以上は無料 休水曜日

●サテライト会場でも 9月23日(金・祝)～10月30日(日)、ポートレース福岡(中央区那の津

一丁目)のレース開催日に巨大パルーン作品を展示(入場料100円)。また、9月23日(金・祝)～10月6日(木)に吉塚市場リトルアジアマーケット(博多区吉塚一丁目)で、9月27日(火)～10月10日(月・祝)に幻住庵(博多区御供所町)でも実施します。 ※共に入場無料。

問問い合わせ先/福岡アジア美術館 ☎263-1100 F263-1105



ジョンベット・クスウィダナント[インドネシア]《ロングマーチ・ジャワ》2013年、宮津大輔氏所蔵